



農業委員・推進委員 になりませんか

農業委員会は、地域の農業・農村の発展のため、市町村に設置されている行政委員会で、農業委員と農地利用最適化推進委員で構成されます。

農業委員は、農業者等の推薦・募集の結果を尊重して、市町村長の議会の同意を得て任命し、推進委員は、農業委員会が委嘱します。いずれも女性や青年農業者、認定農業者などの担い手、地域農業・農村の振興に取り組む住民なども含めた多様な人材が選ばれて、以下の活動を進めています。

1. 農地を守り活かす取組み

優良農地の確保と有効利用のための法令業務の執行、農業者の今後の経営意向等の聞き取りや地域の話し合い等での情報提供をしています。

2. 担い手の育成

地域の中心となる認定農業者等の経営体への農地の利用集積、経営改善の支援、能郷・農業者に関する情報提供をしています。

3. 農政活動

農地利用の最適化に取り組む中で、現場の意見を幅広くくみ上げ、関係する行政機関等に意見を提出しています。

4. 地域活動

地産地消への取組や食育など、地域の実態に応じた農業・農村の活性化を目指しています。

5. 情報活動

農業者の経営と暮らしを応援するため、全国農業新聞と全国農業図書の発行をはじめ、農地情報、農業や地域の情報などを提供しています。

ウーマンアグリネットおおいた 情報紙

V O C E

令和元年度初号

ヴォーチェ



「ヴォーチェ」はイタリア語で「声」由来は編集後記で。

【Special Thanks】

工藤 妙子 会長(豊後大野市) 江藤 国子 副会長(由布市)
堀 京子 委員(臼杵市) 後藤 綾子 委員(豊後大野市)

【編集・デザイン・構成・発行】

ウーマンアグリネットおおいた事務局 令和2年3月発行

祝！常設審議委員会にウーマンアグリネット
おおいた参画

ウーマンアグリネットおおいた会長
工藤 妙子(豊後大野市農業委員会)

「えー？大分では常設審議委員会に参加
していないの？」

三年前の九州・沖縄ブロック女性委員研
修会で他県の会長から言われた一言は衝撃
でした。
すぐに大分県農業会議に大分県も女性委員
を常設審議委員会に参画できるようにして
ほしい、と相談し、昨年の4月に常設審議
委員会への参画を果たすことができました。
これも一重に農業委員会会長会のご理解と
事務局のご尽力のお陰です。

私が常設審議委員会に参画したかったの
は、もちろん各市町村の会長と接点が増え
るため、「ウーマンアグリネットおおいた」
の存在を示すことができると同時に、女性
委員の資質を問われる場に身を置くことで、
女性委員もやれることを示していくことが
大事だと思ったからです。

常設審議委員会では、各農業委員会から
諮問を受けた三千㎡以上の転用案件につい
て、その転用が適切なのかを審議します。
案件内容は様々あり、農地法の正しい理解
と解釈が必要になります。配布される資料
からいかに多くの情報を読み取り、適切に
判断をくだすのか、常に学びの連続です。
常設審議委員会では会長一人だけが出ても
女性委員の資質は示せません。一人でも多
くの委員が常設審議委員会に参画して沢山
のことを学んでもらい、それを共有しなが
ら、私たちみんなで研鑽していく必要があ
ります。そうした仕組み作りも提案してい
ます。その際は是非積極的な参加を！

農業者年金理事長表彰を受けて

臼杵市農業委員会
堀 京子

今回理事長表彰(功績評価部門)第1号
を頂くことが出来たのは、十数年間継続し
てきた年四回の「臼杵市農業者年金加入推
進会議」のおかげです。

「活動の検討」「近況状況報告」「意見交
換」等を四回繰り返すため、推進会議が近
づくとも推進活動をもう少ししてきちんと
報告できるようにしなければという気持
ちになります。

推進活動は対象者が少なく厳しい面も
確かにあります。ただ、農業者年金は「終身
年金」であり、条件を満たせば「政策支援加
入」という大変有利な国の支援もあります。
ひとりでも多くの対象者に声かけしてま
ず制度を知らない状況をなくすこと。そし
てすこしでも興味を持ってもらったら、事
務局と同行し速やかに説明に伺うこと
で加入実績に繋げることができています。

毎年入ってくるファーマーズスクールの
研修生には、「農業者年金は老後の不安を
無くすには必要不可欠よ！」と、話す
入できるようになったら入ると言
れる研修生が多く、実際数年後に加入に
至った例もあります。

良い制度を知らない
と言うことをなくす
ために声かけをする
んだと思って活動し
臼杵市の農業者が安
心して農業経営に励
める一助になれば
と思います。これか
ら頑張ります！



「女性委員の会」の結成のホ・ン・ネ

ウーマンアグリネットおおいた副会長
江藤 国子(由布市農業委員会)

昨年4月に女性委員を2名から4名に増
やすことができました！それを7月の全国
農業新聞に取り上げてもらいました。記事で
は農業委員として推進委員としての情報交
換を綿密に行っていたために、という感じで紹
介してもらいました。確かにその通りなの
ですが・・・

本音を言えば、農業委員会の業務や一農業
者として分からないことや疑問に思うこと
をお茶を飲みながら話せる機会を作りた
かったのです。LINEでみんなを繋いで気
軽に〇日に集まろう、って言える環境が一番
必要と思ったのです。年に数回しかないか
こまった会議より実益はあると思うし、何よ
り報告書や旅費など発生しないので、私た
ちが気楽です！気楽なのってとても大事。そ
うした環境じゃないと本当に困っていること
や分からないことは言えないと思います。

女性の自由な
時間はとても少
ないからこそ、時
間が合うときは、
サツと行動して、
意見交換したり
研修のアイディ
アを出したりし
て行きたいと思
います。
今後は県内の
女性農業者も巻
き込んで行く何
かをしていきたく
いです！



本音が語れる「集い」に 就農女子会

豊後大野市農業委員会
後藤 綾子

「よーし！サウナ部立ち上げるぞー！」初回
からそんな会話が飛び交う就農女子会を開催
しました。

きっかけは豊後大野市で開催される「明日
の農政を考える集い」に女性農業者が参加し
たくないという声を聞いたこと。一見女性の
声を届けられる機会にどうして不参加となっ
たのか知りたくなりました。話をきくと、お堅
い会議の場で意見を言うことが恥ずかしいと
のこと。農業経営は旦那さんがしていること
が見られることから、自分の意見を、しかも政策的
な意見なんて言えないということでした。

私は中立委員で農業のこと、農業者のこと
もまだまだ勉強不足で、現場感覚が分かりま
せん。そこで、この際女性農業者を集めて農業
女子の実態を聞きたいと思い、インキュベ
ションファームの修了生等に声かけをし、開
催に至りました。

彼女たちは、慣れない農作業、暑さ、土地で
子育てもしている。植物と接しているからと
いつも癒やされているわけでもない、旦那さ
んのことを好きだと言っても、不満の一つや
二つ：八つ九ついくらでも出てくる。就農女
子会では、「就農女子のあるある」が多く出て
きました。こうした意見や思いが本当にすく
い上げる意見だと思います。

就農女子会も二回目の開催となり、大いに
盛り上がり、冒頭の会話が出来るまでに。笑顔で
本音を漏らしていく農業女子をみて、本当に
必要な場はこうした「集い」だと感じました。
農業女子の繋がりを作り、農業女子のリア
ルな声を農政に繋ぐお手伝いができるよう頑
張ります。

【農業委員会改選～女性委員の増加に向けて～】

男女共同参画基本計画では女性登用率30%が求められていますが、農業委員推進委員としてはまずは10%(委員総数574名)、58名を女性委員となるよう是非とも協力をお願いします。九州内では女性登用率は最下位です。。。女性候補者の発掘が鍵です！ウーマンアグリネットおおいたで推薦することも可能です！そして、皆さんは引き続き立候補をお願いします！改選時期は以下のとおりです。 ※県内女性委員41名(R2.3現在)。

(令和2年)

5月15日 豊後大野市

7月20日 別府市、中津市、日田市、佐伯市、津久見市、竹田市、姫島村、日出町

10月1日 豊後高田市

(令和3年)

1月1日 臼杵市

3月10日 大分市

3月31日 宇佐市

【編集後記】

年度未ギリギリの編集でし
たが、何とか発行にこじつけ
ました。
情報紙名は、皆さんの「声」
が詰まったものにしたとい
う想いで名付けました。
皆さんの発信の場として活
用ください！お気軽に事務局
まで声を届けてくださいね。
「こんな作物・加工品作っ
てます」「女性農業者と話したら
こんな話になりました」など、
現場にしかない情報をお寄せ
ください！
感想やご意見もお待ちしております
おります。会員みなで作る
情報紙にしたいと思っており
ます。
最後に今回声を届けてくれ
た4名の皆さん、ありがとう
ございました！

事務局(お)

次号は貴女の声をお待ちしています！

